

## 避難方法は4種類

**避**難とは「難」を「避」けること。市が指定する避難所（学校や公民館）に行くことだけが避難ではありません。以下の4つの行動の中のどれを選ぶか、普段から決めておきましょう。

- ① 市が指定する避難所に避難
- ② 安全なホテル・旅館に避難
- ③ 安全な親戚・知人宅に避難
- ④ 自宅の中の安全な場所に避難

※②～④は、いずれの場合も田川市災害対応ガイドブックでハザードマップを確認し、安全な場所かどうかを確認してください。また、ホテル・旅館に料金や対応などを問い合わせたり、親戚・知人に相談したりするなど、事前の確認をお願いします。

## 災害対応ガイドブックの活用

**自**らの命や大切な人の命を守るためには、何よりも事前の備えが大切です。黄色い表紙の「田川市災害対応ガイドブック」では、彦山川や中元寺川、金辺川などが氾濫した場合に、どこの区域がどのくらい浸水するのか、色分けしてわかりやすく表示しています。また、がけ崩れや土石流などが起こりやすい区域、堤防が決壊した場合に人的被害のおそれがある「防災重点ため池」の位置も示しており、自宅の近くの危険性を把握できるようにしています。さらに、避難場所や避難に必要な時間、避難を始めるタイミングなど家族で決めたルール（マイタイムライン）を書き込める工夫も取り入れています。いつ起こるのかわからない災害に備えて、普段からガイドブックを活用しましょう。

▲市役所や市ホームページで入手できます。

◆問い合わせ 安全安心まちづくり課防災安全対策室(☎85-7114)

## 情報の収集

**メ**ール配信や防災アプリなどを活用し、市からの緊急情報を確実に入手しましょう。

### ■防災メール・まもるくん

福岡県が配信するメールサービスです。気象庁が発表する地震、台風、大雨などの情報、市が発令する避難に関する情報などを入手できます。



### ■Yahoo! 防災速報

ヤフー株式会社がスマートフォンなどのアプリを使ってお知らせするサービスです。豪雨予測、市からの緊急情報などを確認できます。



### ■テレビ

地上デジタルテレビ放送中にリモコンのd(データ)ボタンを押すと、気象情報や市からの避難情報を見ることができます。

### ■防災行政無線音声案内

放送が聞き取れないときは電話や市ホームページで確認できます。

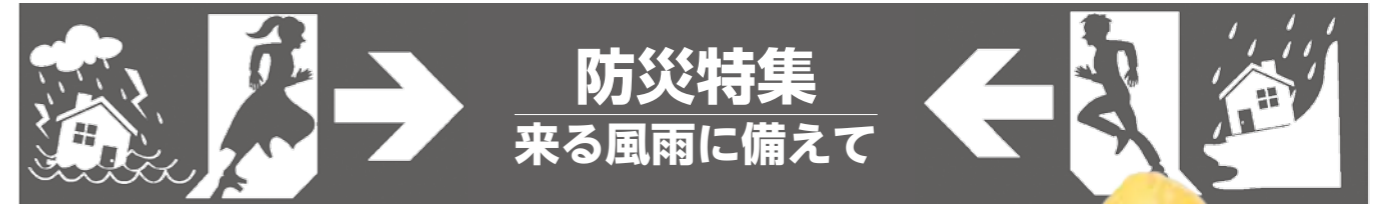
☎0120-894-215(無料)



## 避難所における感染防止対策

**災**害が発生したとき、または発生するおそれがあるとき、避難所には多くの人が集まるため、3密（密集、密接、密閉）の状態が発生しやすくなります。そこで、市では新たな避難所を確保するとともに、避難所内での検温、マスクの着用、手指の消毒、避難者同士の距離の確保など基本的な感染防止対策に取り組んでいます。引き続き避難所における感染防止対策を徹底しますので、いざというときは安心して避難してください。

また、台風の接近や数日後に大雨が予想される場合など時間的余裕がある場合は、避難所での3密を避けるため、安全が確保された親戚・知人宅、ホテル・旅館などを利用した避難方法を検討しましょう。



初夏～秋の季節は、前線や台風の影響で大雨や暴風が発生しやすくなります。地球温暖化の影響で気象現象はますます激化するとされており、本年も最大限の注意が必要です。本市でも昨年8月の大雨で土砂崩れが複数発生しています。災害から命を守るため、日ごろから「田川市災害対応ガイドブック」を活用し、早めの避難を心がけましょう。また、令和3年度から、行動を促す情報が変わっています。必ず確認して災害に備えましょう。



# 警戒レベル4 「避難指示」で必ず避難

警戒レベル	市民のみなさんが取るべき行動	行動を促す情報	発信者	サイレン
高	<b>5</b> 命の危険があるため直ちに身の安全を確保する。ただし、安全な場所への移動がかえって危険な場合は、命を守るために最善と考えられる行動をとる。	<b>緊急安全確保</b> ※災害発生または切迫	田川市	30秒間
<b>！警戒レベル4までに必ず避難！</b>				
	<b>4</b> 危険な場所にいる人は安全な避難場所へ全員避難する。洪水などが想定され移動がかえって危険な場合は、自宅や近くの堅固な建物の上階へ避難するか、上層階にとどまる。	<b>避難指示</b> ※災害のおそれ高い	田川市	30秒間
	<b>3</b> 高齢者など避難に時間がかかる人とその支援者は避難する。その他の人も必要に応じて外出を控えたり、避難の準備を整えたりする。身の危険を感じたら早めに避難する。	<b>高齢者等避難</b> ※災害のおそれあり	田川市	-
	<b>2</b> 避難に備え「田川市災害対応ガイドブック」で避難場所や避難経路を確認する。	大雨注意報 洪水注意報	気象庁	-
低	<b>1</b> 気象情報に注意して、災害への心構えを高める。	早期注意情報	気象庁	-

市と気象庁が発表する警戒レベルは、洪水や土砂災害の度合いを5段階で設定し、市民のみなさんに行動を促す情報と、そのときに取るべき行動を示したものです。「警戒レベル3・高齢者等避難」のときは、避難に時間がかかる高齢者や障がい者とその支援者は、危険な場所から避難してください。「警戒レベル4・

避難指示」のときは、危険な場所にいる人は全員避難してください。「警戒レベル5・緊急安全確保」は、すでに災害が発生しているか、災害の発生が切迫しており、命をおびやかす危険な状況と考えられます。警戒レベル5は必ず発令されるものではないので、警戒レベル4までに確実に避難してください。